

開校準備委員会だより

No. 10

令和6年7月11日（木）
尾道みなと中学校区に係る
小中一貫教育校開校準備委員会
（お問い合わせ）
事務局：尾道市教育委員会
学校経営企画課企画振興係
TEL（0848）20-7523

第9回開校準備委員会が行われました

第9回開校準備委員会を令和6年6月24日（月）に市役所2階多目的スペース2にて開催しました。主な議題は、各部会長から部会の進捗状況についての報告をはじめ、小学校が参加する地域行事や市教委主催閉校式での来賓、旧校舎内の見学についての報告、施設整備について説明を行いました。

第9回開校準備委員会の主な議題

1. 各部会長から部会の進捗状況について

（1）総務等検討部会

第6回検討部会を、7月16日（火）に土堂小学校にて開催し、主に施設整備について検討する予定です。

（2）生徒指導等検討部会<第6回部会（6月17日（月））の報告と確認事項>

①学校規定品について

中学校の制服は、「年間を通してカッターシャツを着用する。長袖か半袖かはどちらでもよい。カッターシャツは学校規定品とはしない。」こと、「ネクタイ・リボンについては学校規定品とし、その脱着の詳細については生徒指導規程で定める」こと、通学カバンは、「現在長江中で使用しているものを使用する」ことを提案し、了承されました。

②通学支援について

路線バスを活用した通学支援について、久保小学校、長江小学校、土堂小学校の3小学校の保護者、学校、教育委員会で構成される小部会を設置し、詳細を協議する旨提案し、了承されました。小部会は7月中に第1回の開催を予定しています。

中学校の自転車通学を許可する範囲は、学校からは半径2キロメートル以上、育友会からは道のり3キロメートル以上と提案され、今後学校から再提案を行います。

（3）教育課程等検討部会<第5回部会（6月11日（火））の報告>

6月12日から児童交流が始まっています。令和7年度の教育計画の作成や現在の尾道市ですすめている「グローバル・ローカル・尾道らしさ」を推進する事業の具現化を図るため、総合的な学習の時間をはじめ各教科等で教育内容の検討を進めています。

2. 質問事項の回答について

（1）小学校が参加する地域行事について、統合校ではどのように整理したのか。

公民館や区長会、子供会が中心に調整しましたが、学校も参画し、各地域の児童が参加していた行事はそのまま地域が継承することになった地域もあります。

（2）市教委主催閉校式での来賓はどのようにリストアップし案内を出すのか。

地元関係者として招待する来賓については、今後、教育委員会が学校、閉校記念事業実行委員会と連携し、名簿を作成していきます。

名簿に記載された来賓には、教育委員会から案内状を送ることになります。

（3）閉校記念事業における旧校舎内の見学について

旧校舎は耐震性が低い建物です。見学範囲と時間については、閉校記念実行委員長と教育委員会が協議を行い決めていきます。見学できるのは、記念事業時の1度きりとしてします。

3. 確認及び協議事項について

○施設整備について

5月24日開催の第8回開校準備委員会で報告のあった、新校舎設計に係る育友会・PTAからいただいた意見への回答を行いました。また、回答した内容を反映した現時点の設計図面を提示しました。今後、改めて育友会、PTAごとに意見を集約し、7月16日開催予定の総務等検討部会で確認、協議を行う予定としています。

(1) 小学校新校舎に関する意見への回答

①特別支援学級の配置について

特別支援教室が1階、普通教室が2階で離れているため交流ができないのではないかと。→レイアウト見直しにより、1階・2階ともに特別支援教室と普通教室を配置します。

②プールについて

屋上に設置するため、安全対策、盗撮対策、熱中症対策などを行ってほしい。→落下防止対策のフェンスの設置、盗撮防止に目隠しフェンス、プールサイドへの遮熱素材を利用する等対策を実施します。

③放課後児童クラブについて

令和9年度はどこに放課後児童クラブを設置するのか。→現長江中学校既存校舎の特別教室棟の1階へ設置を予定しています。令和7・8年度と同じ場所への設置となります。令和10年度以降、学級数が減少すれば、新校舎1階へ移転することも考えています。

④学級数について

1学年複数学級を目指した学校再編であったと認識している。今後、引っ越しや学校選択制度の利用により児童数が増加した場合、理想の複数学級で学習できるよう配慮してほしい。→令和6年5月1日調査をもとに、必要となる教室の見直しを行いました。今後、児童数が増加し全学年2学級となっても、普通教室が確保できるよう配慮しています。

(2) 中学校新校舎に関する意見への回答

①全学年の普通教室が同一フロアであることについて

同じフロアに全学年が配置されていることに不安を感じる。トイレは学年ごとに必要ではないか。→現在、教育委員会、学校長（教職員の意見を含む）で、普通教室の位置を継続協議中です。普通教室を全学年同一フロアにする場合は、トイレは3箇所必要だと考えています。

②図書室の配置について

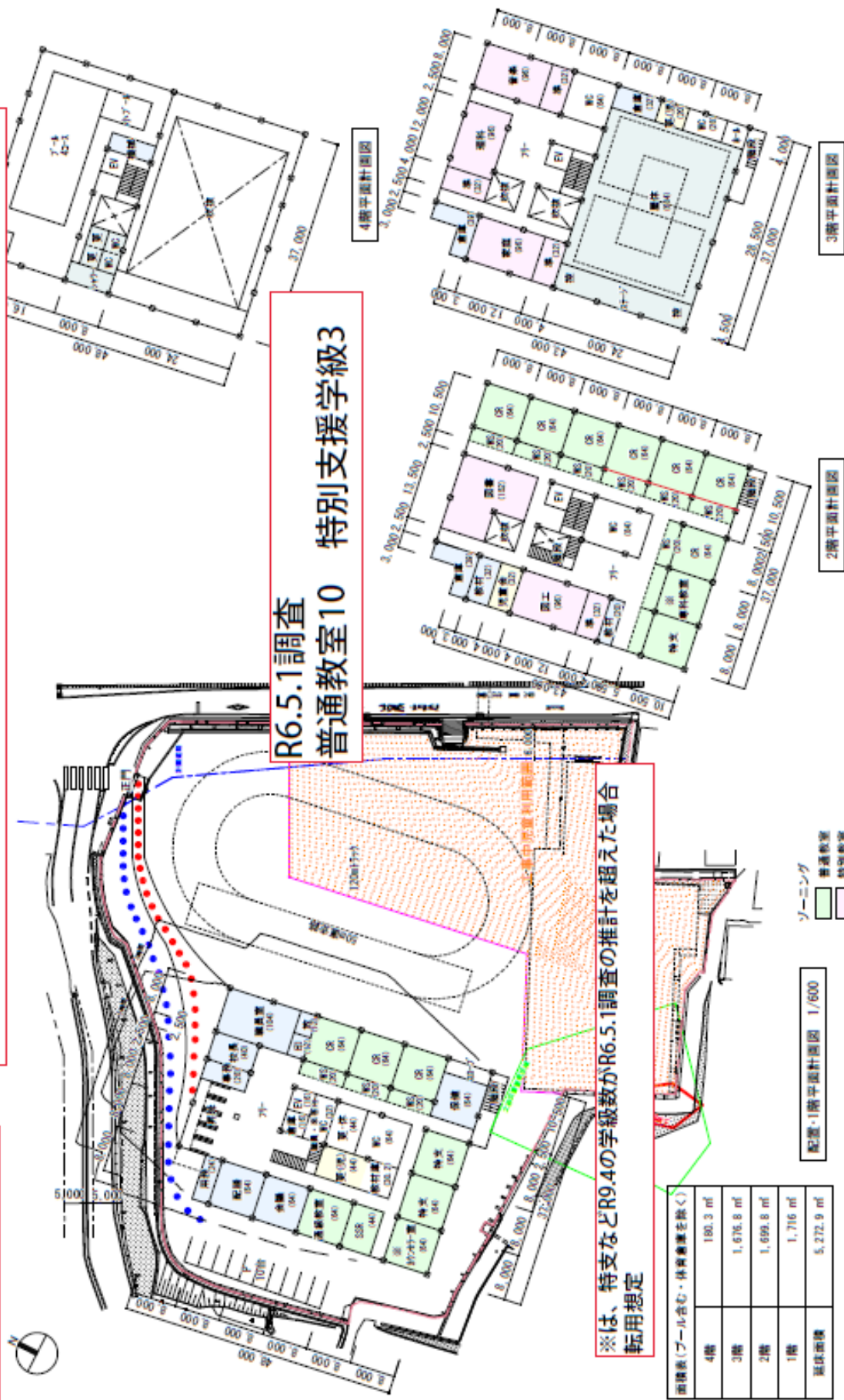
図書室や図書スペースがオープンなので落ち着いて本を読めない気がする。→新しい学習スタイルに対応する施設整備として、図書室を中心とした学習環境の整備が有効であると考えています。設計にあたっては、読書スペースは間仕切り等で分離された空間となるよう工夫する等、生徒が落ち着いて学習できる空間を創出します。

※第10回開校準備委員会は、7月19日（金）に開催する予定です。

※開校準備委員会だよりNo.10は、7月11日現在の情報で編集しています。

開校資料5-2

尾道みなと小学校 新校舎設計 (配置図・平面図)



R6.5.1調査
普通教室10 特別支援学級3

※は、特支などR9.4の学級数がR6.5.1調査の推計を超えた場合
転用想定

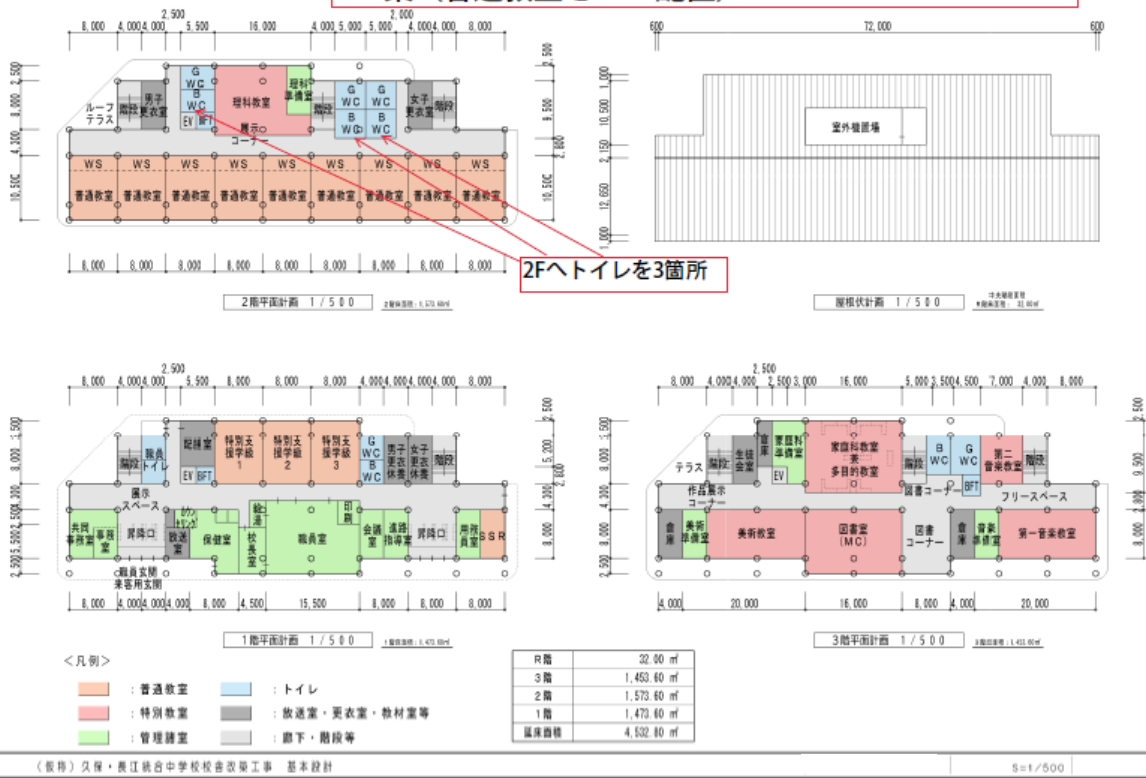
面積表(プール含む・体育館を除く)	
4階	180.3 m ²
3階	1,676.8 m ²
2階	1,699.8 m ²
1階	1,716 m ²
延床面積	5,272.9 m ²

配置・1階平面計画図 1/600

ゾーニング
 普通教室
 特別教室
 管理部門、その他

開校資料5-3

尾道みなと中学校 新校舎設計 (平面図)
A案 (普通教室を2Fへ配置)



開校資料5-3

尾道みなと中学校 新校舎設計 (平面図)
B案 (普通教室を2Fと3Fへ分けて配置)

